

## 【第1学年算数科学習指導案】

平成20年6月30日(月)5校時  
男子名 女子名 計名

### 1 単元

ひきざん(1)

### 2 本時(4/11)

#### (1)目標

○部分集合を求める減法の場合を文と絵からよみ取って、式に表し、答えを求めることができる。

○10以下の2数の減法の計算ができる。

#### (2)展開

過程	時間	児童の活動予想	教師の全体への働きかけ	評価と指導
つかむ	5	1 フラッシュ計算を行う。	1 プロジェクターで提示する。	1
見通す	5	2 問題を理解する。 (1)問題を読む。  (2)問題を理解する。  (3)めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">どんなしきになるか。</div> ※「のこり」の言葉がないのに、ひき算になるのか。	2 (1)教師に続けて、音読する。  (2)子どもの発言を取り上げる。  (3)机間巡視を行い、ノートを確認する。	2 (1)声が揃うまで行う。  (3)「学習のルール」(下敷き・定規など)を指導する。
調べる	15	3 問題を解決する。 (1)絵・ブロック・指をつかって、式を考える。  (2)「考え」を発表する。  (3)図に描く方法を知る。  (4)式・答えをノートに書く。	3 (1)机間巡視を行い、「考え」を確認する。  (2)発表をもとに、「整理」する。  (3)プロジェクターで提示する。  (4)板書する。	3 (1)戸惑っている場合には、プロジェクターで説明する。  (2)拍手及び挙手で、「納得度」を把握する。
磨き	10	4 問題の習熟を図る。 (1)問題を読む。	4 (1)教師に続けて、	4 (1)声が揃う

合う		(2)式・答え、そして、図をかく。	音読する。	まで行う。
		(3)答えを知る。 早くできた子が板書する。	(2)机間巡視を行い、ノートを確認する。	(2)戸惑っている場合には、プロジェクターで説明する。
振り返る	5	<b>5 練習問題を行う。</b> (1)教科書の□8をノートに行う。	(3)答え合わせを行う。	(3)自分で間違い直しを行う。
	3	(2)できたら、指導者に持ってくる。 早くできた子が板書する。	(2)○つけを行う。	(2)分からなかった人は、板書を写す。
	6	<b>6 学習のまとめをする。</b> ①「のこり」がなくても、ひき算になる。 ②ずをかく。	6 指示「ノートに写します。」	
	2	<b>7 計算練習をする。</b> (1)旗印を行う。 (2)できたら、指導者に持ってくる。 早くできた子が板書する。	7 時間に合わせ、問題数を限定する。	(2)ノートを確認し、休み時間に補充指導を行う。

### (3)本時の授業でとくに見てほしいこと

- ①「3(2)」の子ども同士の意見交換。  
→ 説明に対して、「今の説明で分かった人？」と尋ねることで、説明の仕方の練習になる。算数の問題だけでなく、友だちのことを理解しないと、上手な説明はできない。
- ②「絵 → 子どもの説明 → まとめの映像」で、子どもは理解できたか。問題を3問(ハムスター・花・鉛筆)設定し、ステップアップすることで、子どもは理解できたか。  
→ 「5」の練習問題で確認する。
- ③いくつかの段階に分けて、子どもの理解を把握する。  
○できたら持ってくる。  
○ノートに書く。  
→ この1時間で理解できていない場合には、休み時間に確認する。

### (4)人権同和教育の視点から

- ①友達の話をよく聞き、みんなの力で伸び合うようにする(「人権同和教育全体計画」『花野の教育』P. 152より)  
→ 上記「(3)本時の授業でとくに見てほしいこと」①の通り
- ②基礎学力の定着(「人権同和教育全体計画」『花野の教育』P. 152より)  
→ 上記「(3)本時の授業でとくに見てほしいこと」②③の通り
- ③みんなが仲良く助け合う仲間をつくる(「人権同和教育全体計画」『花野の教育』P. 152より)  
→ 「お願いします。」「ありがとうございました。」という会話を行う。  
友だちの発表では、聞いている人は意思表示(同じ意見：拍手 違う意見：挙手)を行う。